

振り込め詐欺 騙されるのか? なぜ人は

騙しの手口と人の心理

これほど振り込め詐欺が知れ渡った今も、いまだ被害にあう人が後を絶ちません。そこで今月は、「なぜ人は騙されるのか?」という視点から、その手口や人の心理を中心に、「振り込め詐欺の今」を特集します。

検証 被害者は、なぜ騙されてしまったのか?

私たち、この一言にやられました!

Aさんのケース

突然の「こちら警察署です」という電話。普段、警察から連絡などないため、もうその一言ですっかり気が動転してしまいました。そこから先は、相手のペースに乗せられて…。気付いたときには、既にお金を振り込んでしまっていたんです。



Aさん(50歳代)



Bさん(70歳代)

Bさんのケース

私の場合は、「還付金」という言葉です。お金を払うのではなく、戻ってくるという話にすっかり警戒心が薄れたのと、今日がその期限だとせかされ、相手の言うままに慣れていないATMの操作をしてしまいました。冷静になれば、ATMでの払戻しなどありえない話なのですが…。

Cさんのケース

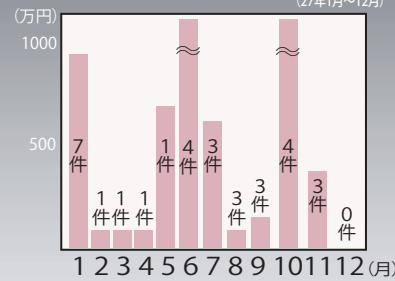
弁護士を名乗る男から、「息子さんが痴漢で捕まりました」という連絡があり、もうびっくりして。その後、警察や被害者の人から次々と連絡が入り、考える余地もなく示談金を用意、支払ってしまいました。その時は、「何とかしなくちゃ」という気持ちばかりで、冷静に判断することなどできませんでした。



Cさん(60歳代)

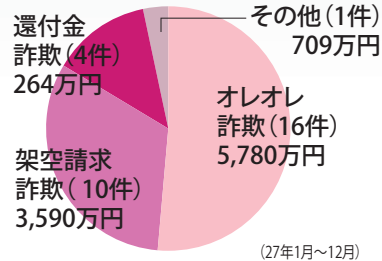
データで見る鶴見の今

ここ最近、鶴見区だけで31件、1億円超の被害額に!



被害件数と額は26年より減ったものの、鶴見区内では昨年(27年)1年間で計31件、総額1億円以上の振り込め詐欺被害が出ています。

オレオレ詐欺が半数以上に。被害者の大半が70歳以上!



26年に多かった還付金詐欺を抜いて、27年はオレオレ詐欺が増加傾向に。また、被害者の大半は70~80歳代の高齢者というのも特徴です。

こんな電話があったら、あなたはどうしますか?

始まりは、こんな1本の電話から…

そのとき、とるべき行動は…

ある日、息子から「会社のお金が入ったカバンを無くしてしまいました。明日には返すから、とりあえず50万円を用意してほしい」と連絡が入る。確かに息子の携帯からの表示だし、すっかり本人と思いつい、家中のお金を集め、家に受取りに来た会社の同僚を名乗る男(共犯者)に現金を手渡してしまいました。

キーワード **会社の金**

「こちら区役所ですが、医療費の還付の通知が届いてませんか? 本日が期限のため、ATMで早く手続きを」との連絡が入る。急いでATMのあるコンビニへ行き、指示どおり慣れないATMを操作したが、相手の巧妙な話術に騙され、自分の口座から相手の口座へ誤って100万円を振り込んでしまった。

キーワード **還付金 ATM**

自宅にスーツ姿の男女が訪れ、「区の職員ですが、先日届いたマイナンバーの通知で個人番号カードを申請するには、登録費用が発生します。今回、その回収に伺いました」と説明。身なりもきちっとして名札もあったため、信じて家族4人分の登録料2万円と全員分の通知カードを手渡してしまいました。

キーワード **マイナンバー**

オレオレ詐欺

還付金詐欺

マイナンバー詐欺

息子を装った詐欺にあうのは、女性が大半です。「息子を助けたい」という思いが、冷静な判断を狂わせます。また、「電話番号が変わった(から登録の変更を)」や「風邪をひいた(から声が違う)」といった連絡が事前にあるのも特徴です。まずその時点で疑い、以前の番号にかけ直して事実を確かめましょう。また、離れて暮らす身内とは、合言葉を決めるなど、事前の取決めもしておきましょう。

還付金をかたった詐欺の電話は、鶴見区内でも多数、情報が寄せられています。区役所からそのような電話は一切かけません。電話で「ATM」といった言葉が出たら、まず「詐欺」と思ってください。そして、何も言わずに電話を切り、すぐに警察へご連絡ください。

ここ最近、マイナンバーをかたった詐欺の報告が急増しています。マイナンバーに関して、区役所が金銭を要求したり、職員がむやみに個人の番号を聞き出すようなことはありません。マイナンバーをかたった電話や訪問がありましたら、絶対に金銭を支払ったり、個人情報を伝えたりしないよう注意してください。

犯人の手口と狙い

Aさんのケース

犯人は、巧みな話術と場面設定で、「非日常」を作り出します。特に警察官や弁護士など普段接触のない者や複数の人物を次々に登場させ、「本当に起きていること」のように思込込ませるのが、その狙いです。

Bさんのケース

お金を「払う」のではなく「戻ってくる」という話で、まず相手に「安心感」や「すき」を与えます。さらに、高齢者に不慣れた「ATMの操作」をさせ、本人と直接接することなく多額のお金を一瞬にして騙し取ります。

Cさんのケース

「身内の一大事」を何とかしてやりたい、という親心につけ込んだ手口です。まず、家族の緊急事態で「平常心」を失わせ、ある種の「パニック状態」を作り出し、冷静な判断や客観的な視点を奪い、犯行に及びます。

今からできること・すべきこと

予防策

1. 今すぐ家の電話を留守番設定にする → 相手が話してから出るようにしましょう。犯人は声の記録を残されることを嫌います
2. 家族とは普段から連絡を取り合うようにする → 親子間で合言葉を決め、すぐに相手を信じない
3. 区の犯罪発生情報のメール配信に登録する⇒⇒⇒ → 随時、発信される区内の犯罪情報を入手し、最新の情報を得ましょう



「この電話、詐欺かも?」と思ったら…

1. 身内の緊急事態だとしても、再度確認を! → 一旦、電話を切り、最近、番号が変わっていたら、以前の連絡先に電話をしましょう
2. どんな緊急事態でも、1人で判断せずに第三者に相談を! → お金の振り込みや受渡しは、絶対に1人でせず、まずは家族や警察、金融機関などに相談しましょう
3. 電話でお金のお話が出たら、相手が身内でも「詐欺」の可能性が! → まずは家族などに相談するか、警察に連絡しましょう

対応策

電話でお金のお話が出たら まずは「詐欺」と疑ってください

鶴見警察署生活安全課 吉井一聡警部補

鶴見警察署から

振り込め詐欺がこれほど知れ渡った今でも、毎年被害にあう人が後を絶ちません。さらに、被害者の多くは、「自分は騙されない」「自分には起きない出来事」と思っていたといえます。それほどまでに、昨今の詐欺は巧妙・複雑化し、日々進化をしています。

手口も、子どもや孫を装ったものだけでなく、警察官や区役所の職員、業者などシチュエーションも多様化し、複数の人物が登場するため、「本当に起きていること」のように思えて、「自分が騙されている」、「これは詐欺かも?」といった冷静な判断ができにくくなります。

そんな振り込め詐欺を防ぐには、やはり事前の取り決めや予防策などが大切です。特に高齢の親と離れて暮らす人は、頻りに連絡を取り合ひましょう。そして、電話で「お金の話」が出たら、まずは「詐欺」と疑う。「自分は騙されない」、「うちの親は大丈夫」という過信を捨て、誰もが詐欺にあう可能性があることを念頭に入れておきましょう。そして、不明な点や何かあったときはすぐに警察へご連絡ください。

鶴見警察署 ☎504-0110

区役所青少年・まちの安全担当 ☎510-1692 ☎510-1892